



クラブ会長ターゲット
「奉仕して学び向上しよう」
"Serve, learn and improve"
2022-2023年度
東京臨海ロータリークラブ会長
杉浦孝浩



国際ロータリーテーマ
「イマジン ロータリー」
"IMAGINE ROTARY"
2022-2023年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ



衛星クラブ議長ターゲット
「自主性を持った奉仕と運営」
"Independent Service
and Management"
2022-2023年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
小松啓祐

2023年6月28日
東京臨海 RC 【第1280回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第89回例会】

東京臨海RC
創 立：1994年8月8日
会 長：杉浦孝浩
副 会 長：酒井教吉
幹 事：井上晴貴
プログラム
構成委員長：伊佐康暢
(会報担当)

東京臨海北斗RSC
創 立：2020年12月18日
議 長：小松啓祐
副 議 長：大貫翔吾
幹 事：井上晴貴

6月28日の卓話

「今年度最終夜間例会」

7月5日の卓話

新旧役員引継式
「東京臨海 RC 三役就任挨拶」
会長 酒井教吉様・副会長 井上晴貴様・幹事 柴田 剛様
「東京臨海北斗 RSC 三役就任挨拶」
議長 大貫翔吾様・副議長 樋口義之様・幹事 笹島弘隆様

《2023年6月21日例会報告》 東京臨海 RC 第1279回 東京臨海北斗 RSC 第88回

司会：寺田雄司会員

- 点鐘：東京臨海 RC 杉浦孝浩会長
東京臨海北斗 RSC 小松啓祐議長



- ロータリーソング斉唱「それでこそロータリー」
：ソングリーダー：吉成副委員長
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：酒井副会長



- 来賓・ゲストスピーカー紹介：杉浦会長
ゲストスピーカー 坂本健太郎様（当クラブ会員）
ゲストスピーカー 萩原 省一様（当クラブ会員）

- ビジター紹介：高吉会員
イノウエ タケヒト様（フィジー諸島スバ RC）
関根和弘様（東京江戸川中央 RC）
森岡 啓様（東京江戸川中央 RC）
河島一夫様（熊本グリーン RC）

- 会長報告：杉浦会長

・入会式

- 東京臨海 RC 新会員：江副彰人様
- ①職業分類：外壁工事業
- ②推薦者：櫻田誠一会員・秋田将宏会員
- ③カウンセラー：村社研太郎会員
- ④所属委員会：会場監督委員会（SAA）



■ 幹事報告：井上幹事

・次週 6 月 28 日(水)は、今年度最終夜間例会です。
例会開始時間は午後 6 時ですでお間違いのないよう
ご出席ください。

■ 委員会報告：柴田会員

・柴田副幹事
オーストラリア・メルボルン国際大会参加報告。



■ 出席状況報告：榎本委員

東京臨海 RC

会員数：58 名
出席：44 名 (例会場：44 名 ZOOM：0 名)
欠席：14 名
出席率：75.86%

東京臨海北斗 RSC

会員数：29
出席：11 名 (例会場：6 名 ZOOM：5 名)
欠席：18 名
出席率：37.93%

■ ニコニコ BOX 報告：今井委員

(ご意向) 本日はイニシエーションスピーチをさせていただきます。宜しくお願い致します。：坂本健太郎会員

(ご意向) 本日はイニシエーションスピーチです。宜しく
お願い致します。：萩原省一会員

(ご意向) 坂本さん、萩原さん、イニシエーションスピーチ盛り上げてください。：杉浦会長、酒井副会長、井上幹事、高橋会員、熊澤会員、勝間田会員、曾根会員、村社会員、柴田会員、小松啓祐会員、畠山会員、寺田雄司会員、伊佐会員、佐藤大輔会員、樋口会員、渡辺会員、伊藤会員、吉成会員、尾身会員、小松靖教会員、諫山会員、寺田千春会員、菅原会員、須藤会員、倉田会員、斎藤会員、今会員、入澤会員、田村会員、櫻田会員、山田晃久会員、秋田会員、内海会員、白井会員、佐久間栄一会員、太田会員、大西会員、小林健一郎会員、大澤会員、今井会員

■ 卓 話 (紹介者：プログラム担当 今委員)

「イニシエーションスピーチ」

東京臨海 RC 会員 坂本健太郎様

皆さん改めまして、こんにちは！ 4 月 12 日に入会を致しました坂本健太郎です。また、本日はイニシエーションスピーチの機会を頂きありがとうございます。このような貴重な機会に大変光栄で緊張しておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。まずは私の自己紹介をいたします。私は、昭和 54 年 2 月 6 日生まれで、ひつじ年のみずがめ座、44 歳の B 型で 地元、江戸川区一之江で生まれました。未熟児の仮死状態で生まれた私に、祖母が【健康に育てほしい…】と願いを込めて、健太郎となったようです。趣味は、15 キロのランニング、海外と温泉旅行、筋トレ、フライフィッシングとゴルフです。 家族構成は、72 才の父と 70 才の母、姉の 4 人家族で 現在は嫁と 8 歳になる長女の 3 人で、とても仲良く幸せに暮らしております。さて、幼い頃からとても体が小さかった私は、今も小柄なんですけど、、 小学校低学年の頃、上級生から【けんちゃんかわいい～】なんて可愛がられていたのですが、小学校の高学年になるといじられキャラになり 中学生になると、体が小さいことからイジメを受けるようになりました。軟式テニス部時代も、ミスの度に罰金というカツアゲのイジメを受けていました。学校に行くのが嫌になった時期もありましたが、まずはテニスを上手くなって、罰金を払わないようにしなくてはと気持ちを入れ替え 朝練夕練と必死に練習した結果、江戸川区大会で軟式テニスのペアで、なんと、1 位を取ることができました。テニスを通じていじめの主犯格とも少しづつ仲良くなっていき、罰金を支払うことも減り、イジメもなくなっていきました。何でも逃げずに自分から変われば、現状を変えられるんだ！と感じた中学校時代でした。 中学生の頃から、将来は会社を継ごうと考えておりましたので 高校では建築を学ぼうと決めており、関東第一高等学校の建築科へ入学いたしました。もともと数学や図を描いたりすることが好きだった私は、次第に良い成績をとれるようになり 高校 1 年の終わりには 10 段階中、平均 9.7 と特待生の候補になりました。成績も良くなり調子に乗っていた私は、高 2 の頃から遊び癖がついてしまい、ナンパしたりするようになりまして その中の一人で、水商売風の女性に興味を持ち連絡先を交換しましたが 女性ではなく、そっち系の方からご連絡を頂き、真夜中に自宅の固定電話へ脅迫電話がかかるようになりました。電話は毎晩のように続き、ストーカー事件のように発展してしましまして このことがきっかけで謹慎処分となりまして、推薦など全てが取り消しとなりました。高卒後にすぐ就職することができず 渋谷にあるインテリアコーディネーターの専門学校へ推薦で入学しました。渋谷という土地柄、勉強よりも遊びに夢中になってしまい ランジェリーパブのボーイのバイトをやりながら、毎週クラブに入り浸るようになりました。ちなみに今はクラブ遊びはしておらず、ロータリークラブ本でございます。半年で専門学校を中退し、父が経営

【40 件 77,000 円 今年度累計 2,436,554 円】



する会社へ就職することになりました。私の父が平成元年当時に(有)坂本建装という名で34年前に設立しました。父は元々、大工の職人をやっておりましたが、私が会社を継ぐにあたり大工は一人前になるまでに時間がかかるし、これからの時代は【木軸ではなく軽量鉄骨】になっていくと感じたようで大工を辞め、軽量鉄骨下地と石膏ボードを取り扱う会社を作ったようです。設立当時は父と親戚のおじさん、職人2名、経理の母と5人体制で、民間のアパート・戸建て・店舗などの内装工事などを請け負っており私も25年ほど前に就職し、10年間ほどは現場作業をしていました。当時は仕事の受注件数に波があり、3月～5月辺りの閑散期は特に仕事が薄く、現場が全くない時期などあり困っていたのですがその閑散期の時に、知人の不動産屋のリフォーム工事を手伝ったことがきっかけで、15年ほど前からリフォーム工事も請けられる体制にしようとして私自身で動き出しました。当時、私の事を全く信用していなかった父はリフォーム工事に反対しており、協力的ではなかったため全て自分一人でリフォーム工事を担当していました。見積書の作り方もわからず、お恥ずかしい話ですが、FAXすら送ったことがなかったのでまずは手書きの見積書を作り、方眼紙に定規で線を引いた工程表を作成し、人工と材料費をなんとなく混ぜて作った実行予算で工事を行っていましたが利益がでるわけもなく、2年ほど続けた結果、3000万円ほどの赤字が出ておりました。両親に【これ以上の赤字をだされては会社がもたなくなる】と真剣な表情で相談をされたのを今でも鮮明に覚えております。当時の売り上げは7000万円程度だったので、3000万円の赤字と聞いて、正直、気絶するほど衝撃をうけどうやったら赤字を脱出できるか真剣に悩みましたが、とてあえず働くしかないと思い、昼も夜も体力が続く限り働きまくりました。また会社の収支を踏まえて見積もりの算出方法など一から見直しを行い、工事台帳を付け原価管理など徹底的に行った結果なんと2年で赤字を黒字に替えることができ、今ではおかげさまで5億8千万円まで売り上げを上げることができました。ここで、いま弊社で行っております工事の一部をスクリーンにて、写真をご紹介します。①昔から行っております軽量鉄骨下地と石膏ボードを扱う工事です。※こちらの現場は、小学校の廊下の天井を全面改修した案件になります。②リフォームやリノベーション、飲食店や物販店などのテナント工事です。※こちらのクライアント様は、タオルなどを販売する店舗で、元請けとして設計から請け負い施工いたしました。③某食品会社のトイレ改修工事です。おもに東日本のエリアを担当しております、今期は東京・埼玉・茨城・宮城・山形・福島で工事を行う予定です。※現況を写真撮影し、使用する材料など素材を画像に当て込み、パース化し、このようにご提案して工事しております。④マンションのファサードリニューアル工事です。※工事前の現況の写真がなかったのですが、外壁に室外機が設置されており外観が悪かったため、高耐久のデッキ材を部分的に取付、オシャレな外観に仕上げました。⑤病院のMRI室やCT室を作る特

殊な内装工事です。※MRI室やCT室などは、放射線や磁気が発生するために、鉛板や銅箔や珪素鋼板など、特殊な素材を使い工事を行っております。⑥左官やタイルなどの湿式工事です。左官タイル工事の有資格者が務めており、珪藻土や漆喰なども請け負っております。※こちらは木工家具にモルテックスという撥水性と柔軟性のあるモルタルを塗り、少し変わったテクスチャーのキッチンカウンターを作りました。※ちなみに写真に写っている人は、近所のおじさんではなく、弊社の社長です。こちらの木工家具を工場で作ってもらいました。⑦ここ12年ほど前から行っております、URのマンションのエントランス改修工事です。※資料は昨年に工事しました、曳舟駅前の団地になります。ルーバーの写真でストップ！URのエントランス改修工事は売り上げの15～20%程度をしめており、東京・神奈川・千葉・埼玉の物件の工事を行っております。工事の発端は、ノンスリップや手摺や点検口などを製造している会社に務めている、知人のメーカー営業マンから【自社の製品をつけるだけではなく、製品に絡む工事を一式請け負いたい】と相談を受けたことがきっかけで、メーカー施工部隊とタッグを組み工事がスタートしました。初めて担当した案件が、横浜港南台にある12棟ある団地で工事内容は、解体・左官・タイル・軽鉄ボード・天井アルミパネル・EVダイノックシート貼りなどでした。居住者が頻繁に往来する中で工事を行わなくてはならないので、工事は通常の間隔とは全く違い、しかも低入札案件で単価も全然合わず2500万円程の受注額だったのですが、全く利益を出すことができませんでした。思ったように現場が進まず、工期も全然間に合わず、工期延長を視野に入れて毎日、冷や汗をかきながら現場を管理しておりましたが工事中に東日本大震災が起こり、タイルなどの材料が入手できない状況となったことがきっかけで、工期延長が認められ、なんとか無事に工事を終えることができました。今では年間20件程度の物件を担当し、おかげさまでしっかりと利益も出しております。また昨年は葛飾区の公共工事で、にこわ新小岩という物件で【軽鉄・ボード・大工工事】を一次で請け負わせて頂きまして会社設立以来で初めて、億超えの物件を担当致しました。軽微な工事から大きな工事まで何でも真剣に取り組みますのでお手伝いできるようなことが事がございましたら、ご遠慮なく、いつでもお気軽にご相談頂ければ幸いです。詳細は15年ぶりに更新した弊社のHPをご覧ください。よろしくお願いたします。

最後になりますが、ロータリークラブへ入会の経緯について少しお話をさせてください。私は江戸川北法人会青年部の2ブロックに所属しております、現在も現役でやっております。同じブロックの先輩は、佐藤大輔会員・佐藤正樹会員・伊佐会員・工藤会員・椎橋会員で、皆すでに卒業されましたが私がとても尊敬している大好きな先輩達です。佐藤大輔会員からは、旅行に行くたびに、人とはかわった遊び方(プ・レ・イ)をたくさん教わり佐藤正樹会員からは、軽トラクーラー

から頑張ってきた【堅実な努力】を学ばせて頂き 伊佐会員からは、若い頃からいろいろなところに遊びに連れて行って頂き 椎橋会員は、いつでも優しく接して頂きました。そして工藤会員からは遊びかたの1~10まで、ご丁寧に教えて頂きまして 工藤会員の背中をみて育ったといっても過言ではありません。本日は残念ながら欠席のようですが、工藤会員から【けんちゃん一緒に錦糸町行こうよ。ではなくて、一緒に上を目指して頑張ろうよ】と声をかけて頂いたことが一番のきっかけで、加入いたしました。ビジターで初めて参加したのが、自事業活性化委員会で なんだかすべての次元が違いすぎて、正直、このクラブについていけるのか、不安でしたが 奉仕を通じて、経営や人材の育成などについて学ばせて頂き、自分にテンションをかけて向上していきたいと思っております。いろいろとマイナスからのスタート人生ではありましたが、自分なりに努力し 立派なロータリアンになれるよう頑張りますので、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。 それでは、そろそろお時間となりますので、以上で終了いたします。 ご清聴頂きまして、誠にありがとうございました。



東京臨海 RC 会員 萩原 省一様

改めて皆さんこんにちは。今年の5月から東京臨海ロータリークラブに加入しました萩原省一と申します。1970年1月14日に江戸川区西小岩で生まれました。年は53歳、兄弟4人、姉、弟、妹です。婚姻歴はバツ2。今の家内と成人した娘2人と一緒に住んでいます。自称真面目で好青年ウブでシャイで正直者。趣味は釣り。釣りと言っても丘釣りではなく、魚釣りです。腕は大したことありませんが、船に乗ってよく釣りに行きます。釣った魚は自分でさばき、家族に振る舞い、家族に美味しいと言われることに幸せを感じ、釣りをしている時が一番幸せ。仕事と離れています。海と会話し、ボトムを探ってる時が楽しくてなりません。正直ゴルフのキャリアは15年以上あるものの実力はそれほどでもないのですが、先日4月に取引先の協力会社第1回ゴルフコンペでなんとホールインワンをやらかしてしまいました。場所は成田のグリスアンドゴルフ。14番150ヤード8番アイアンでした。

さて、これから私の生き立ちを話したいと思えます。3歳の時に江東区東砂に引っ越し、中学までの12年間はそこで過ごしています。私は中東系のハーフで、幼少期には目のぱっちりしたまつ毛の長い可愛い子と言われ、特に年上のお姉さんに可愛がられていたことをよく覚えています。高校入学と同時に江東区北砂に移転しました。都立深川高等学校卒業です。学生の頃はどこにもいそうな目立つことのないありきたりな感じでしたが、バイクが大好きで、先輩の影響もあり、週末になると走り屋として夢の島や船の科学館、船橋港、埋め立て15号地、現在のわかせ橋(?)などで明け方までレーシングスーツを着て走り回ってました。その頃は勉強よりもバイクバイクでガソリン代を稼ぐために、放課後にアルバイトに明け暮れていました。学生時代は異性にモテることがなかったのでバイクの仲間が心の拠り所だったというふうに思っています。高卒後は江戸川区西瑞江にあった服飾製造卸しの会社に知り合いの紹介で就職し、3年間サラリーマンとして働きました。ここでの社会人としての経験が、のちのちの自分の礎になっております。21歳の時に当時付き合っていた女性と駆け落ちし、千葉県姉ヶ崎に身を預け、トラックドライバーとして働き始めました。夜の3時から夕方4時過ぎまで日曜日以外は働きづめ、こつこつとお金を稼いで家族のために頑張ってきました。しかし、1994年、24歳の時に父が仕事の際の事故で右足の膝下から足を切断する大怪我をしたことがきっかけで今の事業を始めることとなります。溶接工として親父が勤務していた会社に所属することになったのも束の間、翌年1995年1月17日阪神淡路大震災によって建物や高速道路の倒壊が起き、甚大な被害が発生しました。今の建築鉄骨の耐震基準が世界的にも厳しくなっていくきっかけとなっています。溶接は鉄と鉄を接合する上で最も効率がよく、品質面でも優れた工法ですが、作法を誤ると溶接熱によって固くなりすぎて脆くなってしまいます。今の建築鉄骨は溶接熱の管理を厳格に定めています。すいません。話が多少それましたので元に戻そうと思えます。さて、私が溶接工として最初に手掛けた作業は倒壊した阪神神戸線の回収工事でした。橋梁制作メーカーとして、日本の3本の指に入る宮城エンジニアリングからオファーがあり、約半年間、長野県松本市に単身出張することとなります。震災の影響で倒壊したわけですから、当然ながら厳しい品質管理を求められ苦労したことを今でも覚えています。この経験こそが今の萩原溶接工業の基礎となっています。私はこの作業を完工させ東京に戻った時、以前一緒に組んでいた先輩達から、自分がこんなに技量を上げて帰ってきたことにびっくりされました。私としても1回り2回り成長した自分を見せることができたと思います。後にこの方たちが私が独立して困っている時に力添えしてくれることとなります。親父から信用は自分で築き上げるものと言われ、たくさんの親方の下で努力を重ね、約2年半、個人事業主として腕を磨いていきました。ある日、親父から「お前は使われる立場ではなく、使う側になれ」と言われ、1998年6月15日、弟と2人でたった2台の溶接機とわずかな運転資金で

有限会社萩原溶接工業を設立した次第です。今日で設立 25 周年となりますが、4 半世紀の中にはいくつもの苦難を乗り越えて、みんなでした苦労があつてこそ、今があると思っています。会社の危機的状況を打開したことがありましたので、お話ししたいと思います。2004 年に神奈川県某美術館の新地工事を施工していた際、元請け指定に匿名で密告がありました。弊社で行っている溶接作業で溶接に必要な資格証を偽造しているとのことでした。当然、資格書は弊社の社員であれば偽造はあり得ません。協力事業所の方たちは事前に書類として提出していただいていたので、元請からは再確認するように指示を受け、すぐに確認作業を行いました。確認しても分からない何かなんだか分からない状況です。すると中にいた 1 名から私に実はと話されたのが、今持つてる資格証の登録番号が本来は他の方の番号だと言われたのです。見分けがつかないぐらい精巧に偽造されたものでした。私は正直に現場所長に話をしました。所長とは以前に何回かお世話になっている方です。所長はこう言いました。「あなたがそんなことするわけがないと信じてる」と。だが、これでは否定に説明ができない。そのとき先ほど話に出た先輩溶接工からこの偽造した免許証保有者は、溶接に必要な試験を既に合格していると、資格証の発行待ちですということでした。所長にその話をすると、所長はすぐ動き、その資格証をすぐ発行してもらえるように各某所に働きかけてくれました。署長曰く、「あなたは悪くない、悪いのは偽造した会社だと。あれだけ精巧に作られたものは絶対に分からないよ」と人に救われた瞬間でした。この後は無事にことなきを経て、今でもその元請とは施工業者として協力させていただいています。やはり悪いことをすればその報いは受けるようで、その会社はその後倒産してしまいました。しかしまだ問題があります。元請に密告した人物が分かりません。なんと密告したのは応援に来ていた別の溶接工だったんです。しかも弟の幼馴染でした。その幼馴染は個人事業主として 5 人の職人を使っていました。幼馴染は北海道で独立し弊社の仕事を手伝うために出張で数名の職員を連れてきていたのですが、職員とは些細なことで仲違いしてしまいました。幼馴染は何をどち狂ったのか、職員のことが許せなかったらしく、辞めた職員のことを仕事ができないように圧力をかけてしまったのです。当然ながら辞めた職員は仕事ができなくなります。その後その職員は私に相談してきたので、私はまるっきり幼馴染と関係がない事業者を紹介してあげました。その時にその職員から 6 年前の密告者は幼馴染だと聞かされたのです。耳を疑いました。しかし、幼馴染がやっていたという証拠を見せられました。私が困っているところを楽しんでいるメールが残っていたんです。しかも 6 年前のもので。さすがにそれを見たら何とも言えない気持ちになりました。しかも今、弊社の仕事を手伝っていて、一緒に手伝ってる職員を引き抜こうとしているのです。私は即行動し、弊社職員を引き抜き工作から改めさせ、クーデターを阻止しました。その職員は今でも弊社に在籍しています。当然ながらそんなことをする幼馴染のことが許せない

私はお仕置きが必要だと思い、北海道から津軽海峡を渡れなくしてあげました。本人曰く、私たち兄弟の事業が順調に進んでいることが納得できず、困らせてやりたかったということです。そんな経験からは、今では作業員として現場には出ず、マネジメント役として業務を遂行しています。水先案内人として誤った方向に舵を切れれば、職員全体ひいては職員の家族までも路頭に迷わすこととなりかねません。それだけは絶対に避けなければならないという思いから今日に至ります。弊社はファミリー企業になりますが、姉が経理、弟は実務、妹は総務を担当しています。兄弟仲良く時には言い合いをすることもありますが、初心の気持ちを忘れることなく、足元をしっかり気をつけていきたいと思っています。弊社の施工実績をお話ししたいと思います。東京スカイツリー、新国立競技場、横浜ベイコート倶楽部、高輪ゲートウェイ駅、羽田国際空港第 3 ターミナル、住友不動産新宿ビル三角広場イベントホール、横浜 K アリーナ、アリーナ棟、ホテル棟。高い技術力を認めていただき、今日に至ります。私の格言に「努力は人を裏切らない、なせばなら、なさねばならぬ何事も」と。たくさんの人に恵まれ、優秀な職員のおかげで信頼を勝ち取り、今まで何とかやってこれました。今日まで知り合った方達とは知り合うべくして知り合い、離れてしまった方は離れるべくして離れてしまったと思います。ここに集まりしロータリアンの諸先輩方とは出会いを大切に奉仕という崇高な理念のもとともに邁進していきたいと思っています。江戸川区松江に事業を構え、10 年 20 年先のあるべき姿を見据えて、地域に貢献できるように頑張っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。お聞き苦しいところもあったとは思いますが、ご容赦ください。これにてイニシエーションスピーチを終了したいと思います。ご清聴ありがとうございました。



■ 点鐘：東京臨海 RC 杉浦孝浩会長
東京臨海北斗 RSC 小松啓祐議長

新年度初例会のご案内

2023 年 7 月 5 日（水）は、新年度初例会です。「新旧役員引継式」を例会開始前 12 時 25 分より開始いたしますので、お早めにご参集下さい。

退任挨拶



東京臨海ロータリークラブ
会長 杉浦孝浩

今年度、皆様に支えられて本当に楽しい一年間でした。コロナ禍も収まり殆どの予定行事を達成出来たことを嬉しく思います。

会員の皆様にも楽しんで頂けたでしょうか？考えるともっと色々出来たことあったなと少し後悔する内容も多いですが、井上幹事と一緒に悩み抜いて組み立てが出来たこと貴重な経験をさせて頂きました。

東京臨海ロータリークラブは平均年齢も若く新会員も多いクラブですが、先輩たちの教えを引き継いで素晴らしい設えが出来るクラブになっています。これはどのクラブに行っても臨海を誇りに思える経験が出来ると思っています。今後もロータリアンらしい立派な設えで最高の時間を作ってください。

次年度は30周年記念の節目です。私は9年間お世話になったこのクラブを離れて東京臨海南ロータリークラブの初代会長を務める予定です。クラブは変わってしまいますが、30周年記念事業としてのクラブ拡大事業に貢献出来るよう尽力したいと考えております。

皆様、この1年間本当にご協力ありがとうございました。また、東京臨海ロータリークラブの皆様、9年間たくさん学びを頂きました。本当にお世話になりました。今後も一生の友達として変わらないお付き合いをしてください。

これからの東京臨海ロータリークラブの益々の発展を祈念しております。



東京臨海ロータリークラブ
副会長 酒井教吉

2022年度副会長ということで、会長、幹事の補佐を務めさせて頂きました。

杉浦会長ターゲットの「奉仕して学び向上しよう」を会員全員がご理解いただき、楽しんで取り組むことができるよう微力ながらサポートさせて頂いたと感じております。また、皆さんが「何のためにロータリーに入ったのか？」「ロータリーに入って何が変わったのか？」ということを感じられるような環境作りに努めて参りました。そしてクラブの雰囲気も皆さんのおかげで良くなって来たのではと思います。

次年度はますますみんなでロータリーを楽しむことができるような色々な意味で頑張りますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



東京臨海ロータリークラブ
幹事 井上晴貴

2022-2023年度は、様々な行事の復活の年でした。38回の例会と幹事としてその他の活動は56件でした。コロナ明けで、本格的なクラブ運営は4年ぶりとなりました。フル回転な幹事を携わらせていただき、様々な大切な経験を得ることができました。

東京臨海ロータリークラブ会長ターゲット「奉仕して学び向上しよう」に向けて、幹事としての役割は達成したと思います。様々な失敗も多々ある中で、復習して成長できたと思います。

また東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長ターゲット「自主性を持った奉仕と運営」については、北斗会員の皆様に対しては、様々なことを伝えていきつつ、係の仕事をしていただきました。次年度に向けて、自主性を持って動けるスキルは獲得したと考えます。

まだ、未熟ではありますが、貴重な経験を通して、次の引継ぎや、クラブ運営に対して尽力していきたいと思っております。本年度はありがとうございました。感謝いたします。



東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ
議長 小松啓祐

2022-2023年度、東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長を務めました小松でございます。

本年度も皆様より多大なるお力添えをいただきまして誠にありがとうございました。

お陰様で、クラブとしても、個人としても非常に成長できた一年のように思います。

クラブとしては3年目を迎え、より成長していくために理事会を設置することが出来ました。個人としては議長と言う大役を務めることで、クラブがどのように運営されているか、又、運営の為に沢山の人が汗をかいていることに改めて気づくことができ、大変貴重な経験をすることが出来ました。

2023-2024年度は東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ会員から初めての議長として、大貫現副議長が議長を務められます。

会員全員で議長をサポートしていただき、より良いクラブにして頂ければと思います。

改めまして、一年間ありがとうございました。

来年度は東京臨海ロータリークラブの副幹事を拝命致しましたので引き続きご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願致します。